日本小児歯科学会と小児歯科認定医

日本小児歯科学会は、小児歯科全般にかかわる診療・教育・研究をまとめる大きな学術団体です。

この学会では認定医制度を実施しています。日本小児歯科学会が認めた認定医は、一定の基準以上の高度な専門知識と治療技術を持っている小児歯科医です。全国各地でこの認定医が活躍しています。

小児歯科認定医の歯科医院では、適切な診療とその後の管理をしっかりすることで、長期間にわたって歯や歯ぐきの健康やよい歯並びなど、お口に関するすべての健康管理システムが充実しています。

ですから安心して治療が受けられるのです。

小児歯科 認定医のご案内

ご存じですか？ 小児歯科の認定医制度を

日本小児歯科学会認定委員会 編集

予　防

フッ素

むし歯予防にはフッ素は欠かせません。歯の質を強くしてむし歯に対する抵抗力をつけます。
歯の生え方に合わせて使用すると効果的です。
そのため、定期的に小児歯科医や歯科衛生士の指導を受けましょう。

シーラント

奥歯のくぼみや深い溝は、十分な清掃が難しくむし歯になりやすい部分です。
細菌が住めないようにくぼみや溝をシールして保護する方法をシーラントといい、むし歯予防に有効です。

ブラッシング

乳歯は生後6カ月頃より生え始め、2歳半から3歳頃までに乳歯の歯並びができあがります。
さらに6歳頃より永久歯が生え、12歳頃までに永久歯の歯並びができあがります。
そこで、この歯の生え方に合わせた歯磨きの習慣が必要になります。通院している間に歯の生え方に合わせた歯磨きの指導をします。

食事と間食

子どもには間食は欠かせない食習慣なので、砂糖の取り過ぎは、むし歯をつくる原因だけでなく、全身の健康管理とも深く関わっています。認定医のいる小児歯科医院のスタッフは、専門的な指導ができるよう教育を受けていますので、何でもご相談ください。

フロッシング

歯と歯の間は歯ブラシではきれいに磨けないので、デンタルフロスによる糸磨きが有効です。認定医のいる小児歯科医院では歯科衛生士が専門的な知識で個人指導をしてくれますので安心です。

歯のケガ、口のケガ

歯や口をケガしたときは、できるだけ早く小児歯科医に診せてください。敏速な処置がのちに生じる問題を未然に防ぐこともしばしばあります。
すばやい行動によって、完全に脱落した歯であっても救うことができます。その際、歯を乾燥させないように注意してください。保存液としては牛乳が適当です。

年齢に応じて

乳児期

赤ちゃんの健康を保つためにも、栄養を摂取するお口の働きはとても大切です。母乳期から離乳期を経て、普通食へと移行する際の、食べる機能の習得は、成長を見守るご家族の一番の心配事です。私たち小児歯科医は子ども達の食べる機能（摂食機能）の発達を応援しています。この時期からの定期検診を受診されることをお薦めします。

幼児期（乳歯列期）

お口の中にきれいに並んだ小さな乳歯。この歯の働きは永久歯に換わるまでの間、とても重要な役割を果たします。私たち小児歯科認定医は子ども達の大切な乳歯を守り、健全な永久歯までの道案内を引き受けます。お口についての心配ごとは何でも定期検診でお気軽にご相談ください。

学童期（混合歯列期）

小学校の1年生から6年生までの6年間に、乳歯はほとんど永久歯に生え換わります。健康で美しい永久歯の歯並びができるように、小児歯科認定医は応援しています。ダイナミックに変化する大切な時です。問題が起きる前にぜひ小児歯科認定医に相談してください。

定期検診

子どもの頃の生活習慣が、その人の一生の健康を左右します。自分の健康を自分自身で管理できるよう、楽しく見に付けたいものです。

乳歯のむし歯だけでなく、歯肉や歯の咬み合わせ、そして何よりもお口全体のバランスなど発育途中の子どもの顔、顎、口について総合的に見守るのが、定期検診の目的です。1年に3～4回の定期的な検診を受けましょう。

応じて

中高生
（永久歯列期）

きれいに生えそろった永久歯列。ここまでくれば一安心。しかし、中高生は生活習慣が最も乱れる時期なのです。そのため、むし歯をはじめ歯周病（歯ぐきの病気）や顎の関節の異常も多くみられますので、この時期には半年に1度の定期検診が欠かせません。

検診

永久歯に生え換わるこの時期には、いろいろな変化が連続して見られます。歯の咬み合わせや、歯並びのことだけではありません。例えば、口臭や、歯肉の腫れ、あるいは顎の関節の問題などです。大人になるにつれ、身体の変化と生活の変化に対応するため、知っておかなければならないことが沢山あります。

きれいな歯並びをつくり上げ、維持するための生活習慣を身に付けるため、1年に2～3回の定期的な検診を受けましょう。

歯並びについて

歯並びの悪さは、審美的な問題だけではありません。健康を維持するために、よく咬んで食べることが大切なのです。そのためには正しい歯の咬み合わせと、歯並び、そしてそれを取り巻く筋肉などお口全体のバランスを考えることが必要です。

物を食べることから、しゃべり方まで日常気付かない小さな異常が大きな問題を生じることもあります。気になることは何でもご相談ください。

メッセージ

トータル・ヘルス・ケアー

お口の中の健康を守ることは、全身の健康を保つ上で大変重要なのです。小児歯科医は子ども達の健康を守り育てるために、小児科医や内科医、他の専門医と連携・協力して最善の医療を提供します。子ども達の健康を管理する上で、大切な医療チームの一員として、小児歯科医は重要な役割をはたしています。

安心

小児歯科認定医は、子どもの歯と顎の正常な成長と発達を促し、将来予測される歯の問題を未然に防ぎながら、子どもの成長にあわせて最善の治療を行う専門医です。また、歯科治療を受ける際に、身体的あるいは精神的に障害を抱えた子ども達に対しても、特別な教育を受けておりますので、安心してお任せください。

乳歯の重要性

乳歯は栄養摂取のためだけでなく、顎の発育にも関係があります。そして、永久歯が生えて来るのを誘導します。もし、乳歯が早く抜けてしまった場合には、永久歯が生えるスペースを確保するために、保隙装置によって維持します。

私たちは、子どもとのコミュニケーションも大切な医療の一つと考えています。

むし歯の治療

むし歯は、私たちの口の中に日ごろから存在する細菌と食べ物の中の砂糖が互いに影響することによってできるものです。私たちは高度な技術を使ってむし歯を取り除き、歯と同じ色もしくは金属の材料で歯をなおします。むし歯が非常に大きい場合には、かぶせてしまうこともあります。

コミュニケーション

子どもは歯科治療に対して何らかの不安や恐れを持っています。先生をはじめ歯科衛生士、受付など小児歯科のスタッフは、歯科治療を受ける子ども達の心理的な問題について十分に理解しています。訓練されたスタッフが治療を始める前に、子どもの心配を取り除き、リラックスして治療を受けられるように指導し、生涯を通じて歯科治療に対して悪いイメージが形成されないように注意しています。